

経営比較分析表（令和5年度決算）

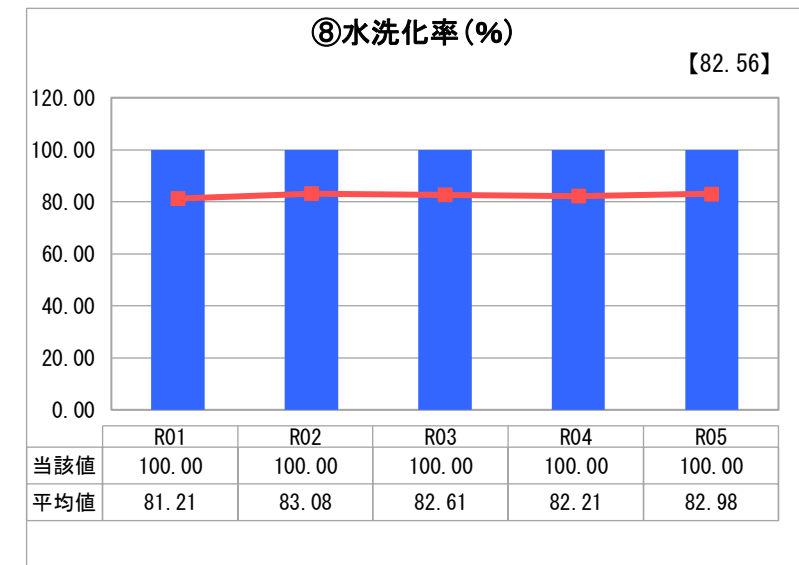
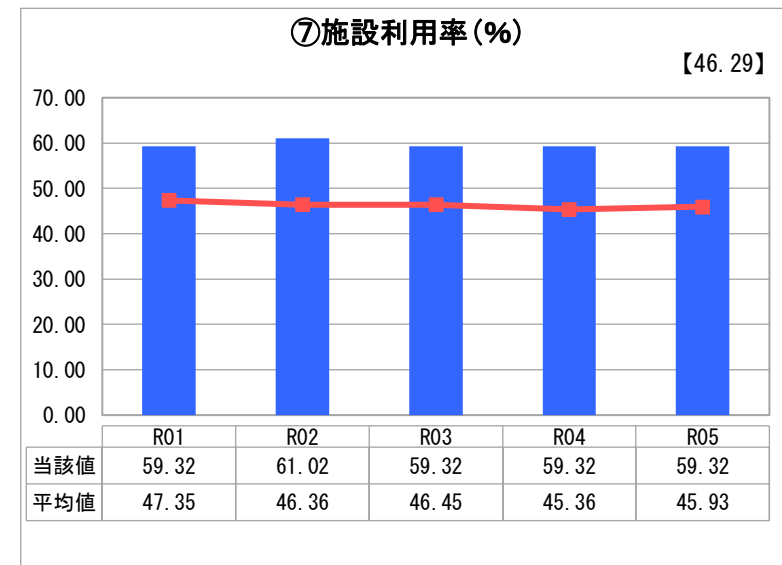
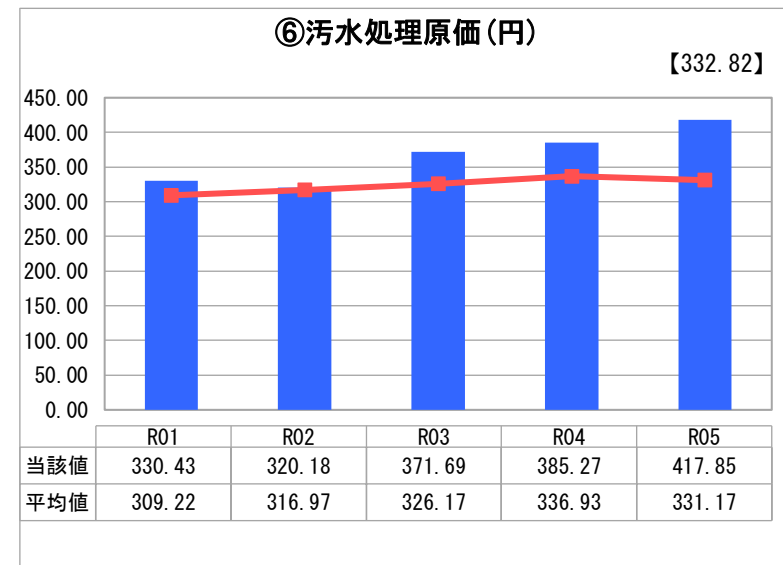
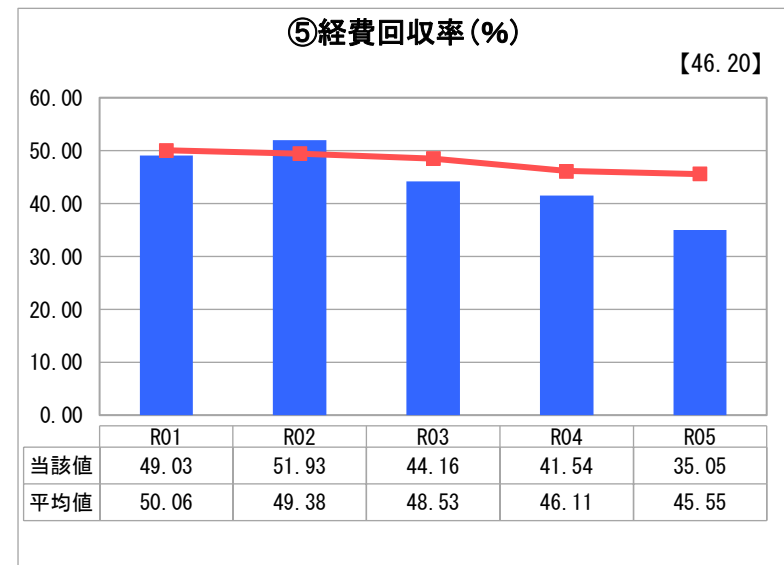
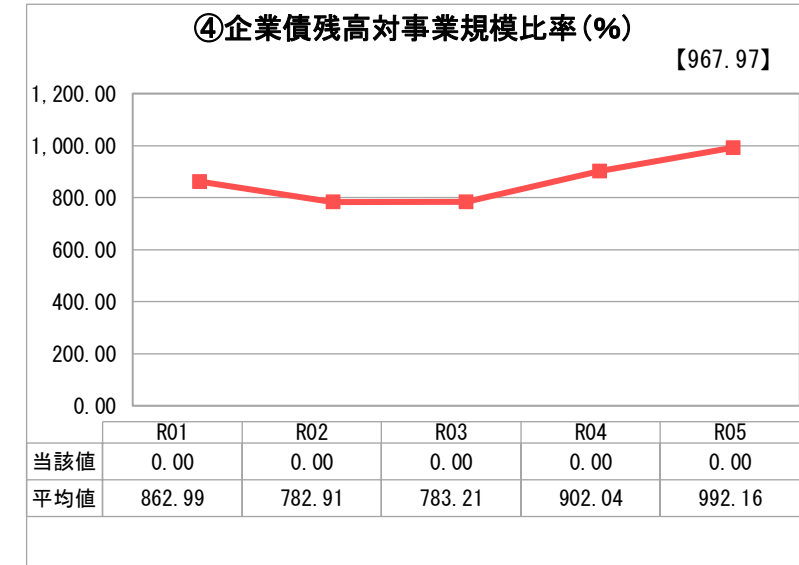
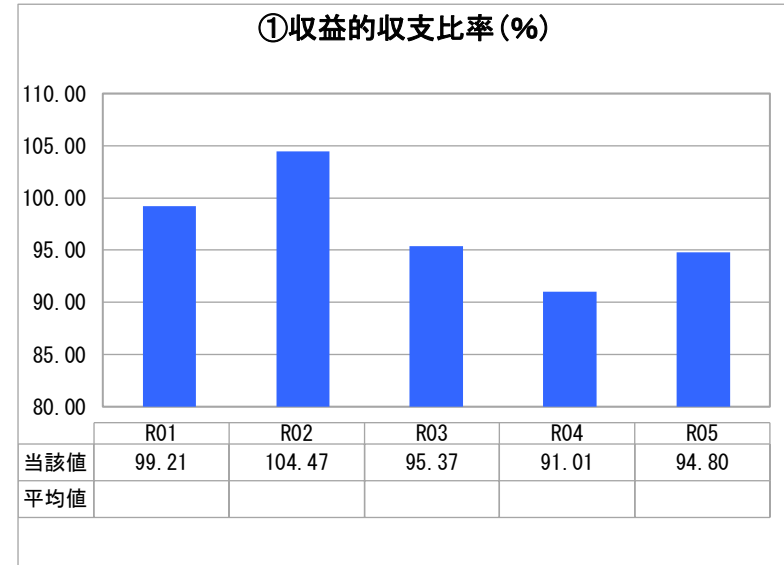
山形県 白鷹町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.11	100.00	3,520

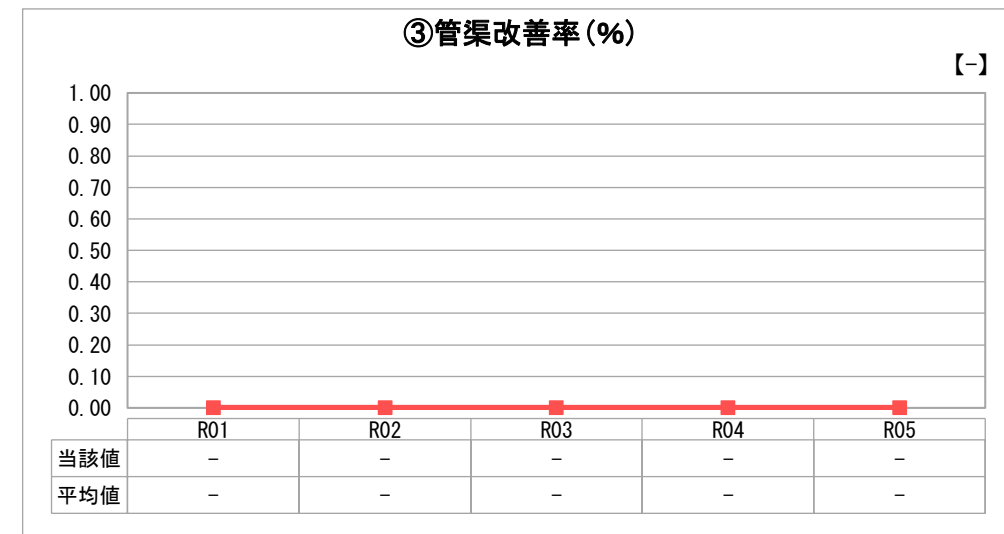
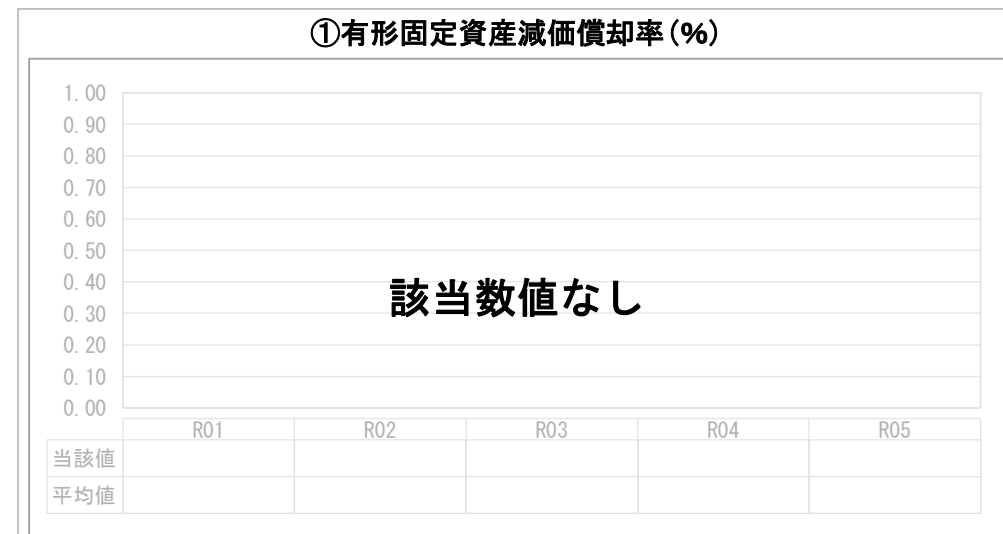
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,507	157.71	79.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
138	0.58	237.93

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

使用料収入は打切決算の影響により、令和4年度と比較して、約8.2%減少した。薬品費や合併処理浄化槽を管理するための委託料等の維持管理費が増加したことに伴い、汚水処理費は令和4年度と比較して、約8.7%増加した。

⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価についても、上述のとおり、使用料収入が減少し、薬品費や合併処理浄化槽を管理するための委託料等が増加したことにより、令和4年度と比較すると、経費回収率は低く、汚水処理原価は高くなる結果となった。

2. 老朽化の状況について

本事業は平成14年から開始したところである。合併浄化槽本体の故障はないが、近年、付属機器（ブロワ等）の修繕が増加しており、今後さらに修繕に費用を要することが想定される。定期的かつ適切な保守点検を行うことにより、維持管理費の抑制に努めていく。

全体総括

本事業はすでに整備が終了し、整備に係る地方債の償還も完了している。今後は経年劣化による修繕費等の維持管理費の増加が見込まれるが、人口減少により使用料収入は減少していくことが想定されるため、適切な保守点検を行うことにより、維持管理費の努め、安定的な経営を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。